

NSG

GROUP



NSG グループ

2017年3月期第3四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年12月31日)

日本板硝子株式会社
2017年2月2日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

NSGグループ 2017年3月期・第3四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。

CFOの諸岡です。

本日の説明会には、私とCEOの森、そしてCOOのクレメンス・ミラーが同席しております。

私の方から、第3四半期決算の概要について説明いたします。

2017年3月期第3四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年12月31日)



目次

要点
決算概要
事業状況
まとめ

4ページは、本日の決算報告の内容となります。

私の方から、この目次に沿って、今回の決算の概要について説明させていただきます。

要点：2016年4月－2016年12月

- 2017年3月期第3四半期の営業利益は、為替換算の影響を受けるも、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは大きく改善
- 高付加価値品の販売数量は着実に増加

5ページをご覧ください。業績の概要は、このスライドにまとめた通りでございます。

営業利益は、為替換算による影響を受けながらも、高付加価値品の売上の増加、エネルギーコストの減少、そして生産性の改善などにより、前年から大きく改善しました。

キャッシュ・フローは、利益の増加と有形固定資産の売却により、改善しました。

建築用ガラス事業の欧州と北米で高付加価値品の販売数量が増加するなど、事業改善のための施策は順調に進捗しております。

2017年3月期第3四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年12月31日)



目次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,796	4,307	-10% ²
無形資産償却前営業利益	166	228	37% ³
償却費 ¹	(60)	(27)	
営業利益	106	201	90%
個別開示項目	(32)	54	
金融費用(純額)	(137)	(138)	
持分法による投資損益	(10)	8	
税引前利益/(損失)	(73)	125	
当期利益/(損失)	(123)	59	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(141)	46	
EBITDA	419	443	6%

¹ ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

² 為替変動を除くと、3%増

³ 為替変動を除くと、64%増

為替換算の影響を受けるも、業績改善

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

7ページは、連結損益計算書になります。

売上高は4,307億円となり、前年比で10%の減少となりました。為替変動の影響を除くと、前年比3%の増加となります。

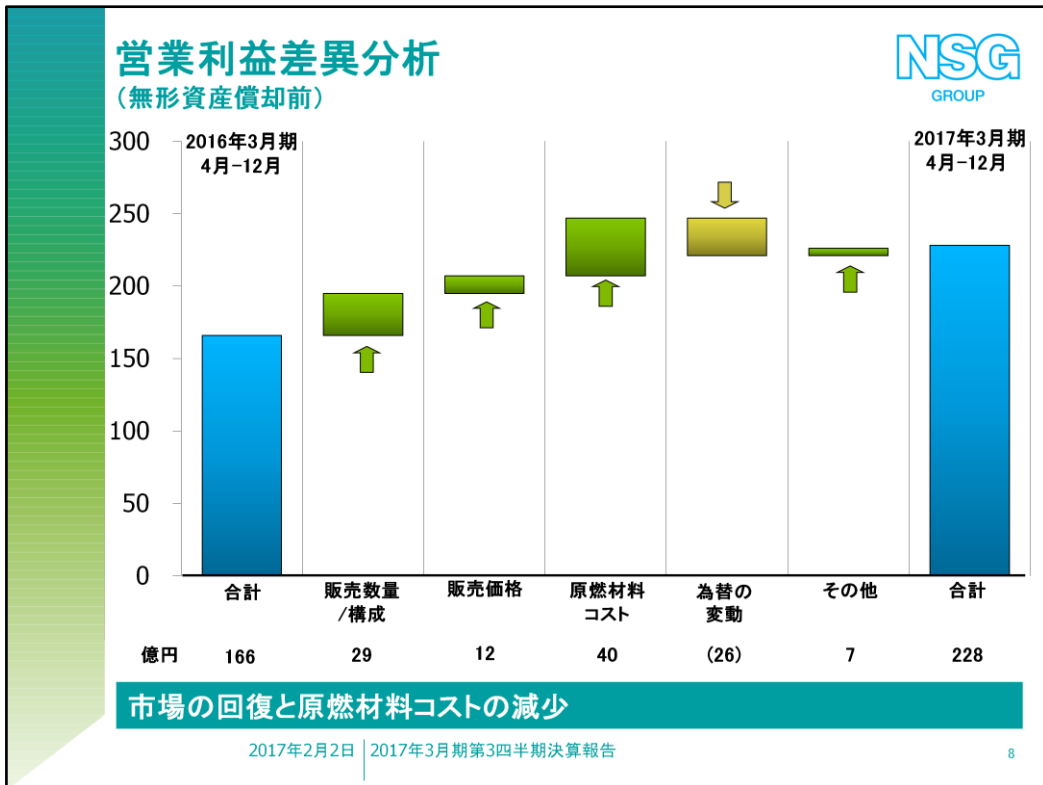
無形資産償却前営業利益は228億円で、前年から62億円の増加となりました。為替変動の影響を除くと、前年比64%の増加となります。

高付加価値品の売上の増加、エネルギー・コストの減少、そして生産性の改善が利益の増加に寄与しました。

個別開示項目では、54億円の利益を計上しています。セール・アンド・リースバック取引の実施による利益や関連会社に対する投資の売却益などを計上しています。

持分法による投資損益は前年から改善しています。金融費用は前年と同様の水準となりました。

EBITDAですが、業績の改善により、前年から6%の改善を見せています。



8ページへ移ります。ここでは、無形資産償却前営業利益について、前年との差異について説明しています。

「販売数量/構成」ですが、主に欧州と北米の自動車用ガラス事業における数量増加の影響を反映しています。

「販売価格」ですが、欧州と北米の建築用ガラス事業で改善しています。

「投入コスト」では、エネルギー・コストが下がりました。

「為替の変動」ですが、ここでは為替の変動が当社の利益に及ぼした影響を示しています。(注:このグラフでは、前年の利益を当期の為替レートで換算しなおした時の影響を示しています。)

個別開示項目



(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期
有形固定資産等の売却による利益	2	79
関連会社に対する投資の売却による利益	-	9
事業撤退による利益	-	9
関連会社に対する持分変動益	1	-
リストラクチャリング費用	(18)	(28)
有形固定資産等の減損損失	-	(16)
係争案件の解決に係る費用	(17)	1
	<u>(32)</u>	<u>54</u>

有形固定資産等の売却益を計上

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

9

それでは9ページへ移ります。ここでは、個別開示項目の内訳をご確認いただけます。

この9か月間で、54億円の利益を計上しています。

第1四半期に、日本とマレーシアで実施したセールス・アンド・リースバック取引などによる利益を計上する一方、欧州と東南アジアではリストラクチャリング費用を計上しています。

連結キャッシュ・フロー



(億円)	16年3月期	17年3月期
	4月-12月期	4月-12月期
当期利益/(損失)	(123)	59
減価償却費	313	242
減損損失	-	17
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(2)	(99)
法人所得税支払額	(29)	(34)
その他	(10)	(26)
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	149	159
運転資本の増減	(137)	(80)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12	79
有形固定資産の取得	(230)	(169)
資産売却収入	5	129
その他	(9)	(7)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(234)	(47)
フリー・キャッシュ・フロー	(222)	32

キャッシュ・フローは大きく改善

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

10

10ページはキャッシュ・フローになります。

営業利益の改善と沿うかたちで、キャッシュ・フローが大きく改善していることをご確認いただけます。

フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の増加による影響を受けながらも、資産売却によるキャッシュ増の効果もあり、前年から大きく改善しています。

主要財務指標 (KPI)



	2016年3月末	2016年12月末
ネット借入(億円)	3,810	3,717
ネット借入/EBITDA	6.3x	5.9x
ネット借入/純資産比率	3.4	3.7

	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.4x	3.4x
営業利益率*	3.5%	5.3%

* 無形資産償却前営業利益

ROSなどのP/L指標は改善

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

11

11ページは、主要財務KPIの一覧です。

「ネット借入」ですが、為替換算の影響とキャッシュ・フローの改善により、減少しています。

「ネット借入/EBITDA比率」は、EBITDAの改善に伴って、緩やかに改善しています。

「ネット借入/純資産比率」は、円高による為替換算の影響を受け、前期末から悪化しましたが、第3四半期の3か月間で回復しています。

「営業利益率」は、利益の増加に沿って改善しています。

2017年3月期第3四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年12月31日)

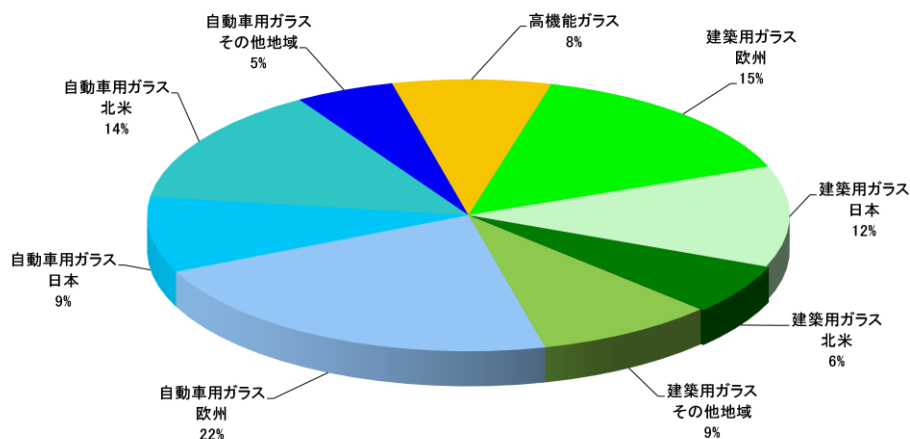


目次

要点
決算概要
事業状況
まとめ

事業別売上高

4,307億円



2017年3月期 第3四半期
(2016年4月 - 2016年12月)

グローバルに事業展開

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

13

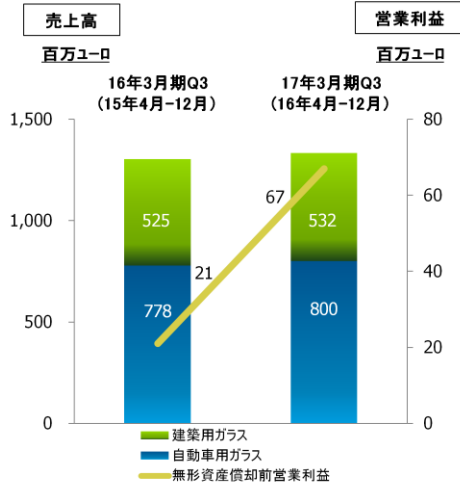
13ページへ移ります。

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高の構成比を示しています。

当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が38%、日本が25%、北米が20%、その他が17%となっています。

欧州

2016年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 需要の増加により、価格が改善
- エネルギーコストの減少と稼働率の向上が利益に寄与

自動車用ガラス事業

- 域内の乗用車販売台数が増加
- 生産性の改善が新車用ガラス(OE)の利益に寄与
- 補修用ガラス(AGR)の数量は堅調

市場の改善による影響を享受

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

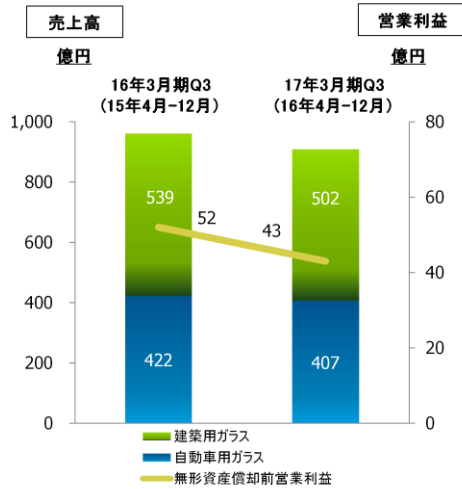
14

14ページへ移ります。ここでは欧州における当社グループの建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の業績についてご覧いただけます。

建築用ガラス事業では、市場における需要の増加により、数量と価格の改善が見られました。また、エネルギーコストの減少と稼働率の向上が利益に寄与しました。

自動車用ガラス事業では、乗用車販売台数の回復に沿うかたちで当社グループの数量が増加しています。また、生産性の改善が利益に寄与しました。

日本 2016年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 投入コストの減少とコストダウンの効果が、販売数量減少の影響を一部相殺

自動車用ガラス事業

- 前年同期よりわずかに減収減益
- Q3の乗用車販売台数は、前年同期より改善

軟調な市場の影響を受け、減収減益

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

15

15ページは日本です。

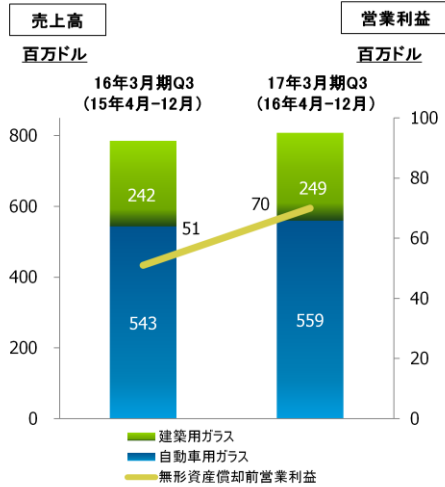
当社の建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業のいずれも、軟化した市場の影響を受けています。

建築用ガラス事業では、数量の減少による影響の一部を、エネルギーコストの減少とコストダウンの効果が相殺しています。

自動車用ガラス市場は、年度の初めに発生した熊本地震による影響を受けましたが、それ以降は改善を見せています。

北米

2016年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 価格の改善と高付加価値品の数量増加により増収増益

自動車用ガラス事業

- 新車用ガラス(OE)では、当社の数量が増加しており、増収増益
- 生産性が改善
- 補修用ガラス(AGR)の業績は、前年同期並みの水準で推移

市場は好調を維持しており、利益増

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

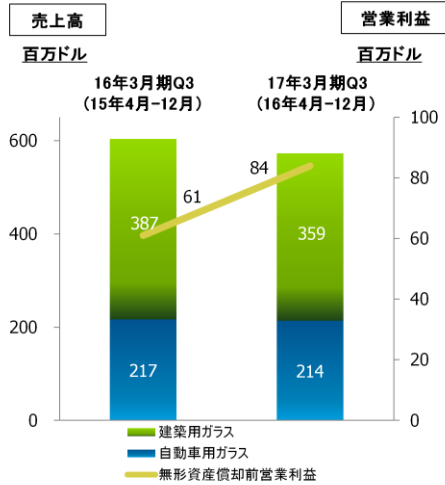
16

16ページの北米へ移ります。

建築用ガラス事業は、堅調な需要に支えられた価格の上昇や高付加価値品の数量の増加により、増収増益となりました。

自動車用ガラス事業は、数量の増加により増収増益となりました。生産性の改善が利益に寄与しています。

その他地域 2016年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- アルゼンチンのフロート窯定修による影響を受けた前年から、利益は改善
- 東南アジアの需要は堅調

自動車用ガラス事業

- 南米では低調な市場の状況が継続

好調な地域と低調な地域が混在

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

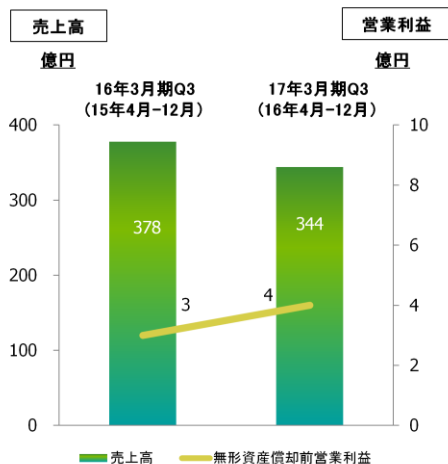
17

17ページは、その他の地域です。

建築用ガラス事業ですが、南米は厳しい経済情勢のなか利益が改善しています。東南アジアは、引き続き堅調な需要の影響を享受しています。前年は、アルゼンチンやマレーシアのフロート窯の定修によるマイナス影響を含んでいます。

南米の自動車用ガラス市場は、乗用車販売台数が前年より減少しており、低調に推移しています。当社グループの業績は、その影響を受けています。

高機能ガラス事業 2016年3月期第3四半期との比較



高機能ガラス事業

- ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の休止により、ディスプレイの赤字は縮小
- プリンター用レンズの売上は減少
- 堅調な自動車市場を背景に、グラスコードの数量は増加
- バッテリーセパレーターの需要は堅調

ディスプレイは、薄板ガラス用フロート窯の休止により赤字縮小

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

18

18ページの高機能ガラス事業へ移ります。

高機能ガラス事業の利益は、前年からわずかに改善しました。

ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の休止により、ディスプレイの赤字が縮小したものの、市場の軟化により、プリンター用レンズの売上が減少しました。

グラスコードとバッテリーセパレーターの需要は、いずれも堅調に推移しています。

持分法適用会社 2016年3月期第3四半期との比較



(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期
持分法による投資損益	(10)	8

- セブラセ(ブラジルのジョイント・ベンチャー)の業績は前年同期から悪化
- 2016年3月期において減損損失を計上した結果、中国とロシアのジョイント・ベンチャーの業績は当期損益に影響しない

持分法による投資利益は改善

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

19

19ページは持分法適用会社になります。

持分法による投資損益は、前年から改善しています。

ブラジルのジョイント・ベンチャーであるセブラセの業績は前年を下回っています。

中国とロシアのジョイント・ベンチャーに対する投資については、2016年3月期に減損損失を計上した結果、これらのジョイント・ベンチャーの業績は、当期損益には影響がありません。

2017年3月期第3四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年12月31日)



目次

要点
決算概要
事業状況
まとめ

まとめ

- 2017年3月期第3四半期の営業利益は、為替換算の影響を受けるも、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは大きく改善
- 高付加価値品の販売数量は着実に増加
- 2017年3月期通期の業績予想に変更なし

22ページに移ります。

営業利益は、高付加価値品の売上の増加、エネルギーコストの減少、そして生産性の改善などにより、前年から大きく改善しました。

キャッシュ・フローは、利益の増加により改善しています。

事業改善のための施策は順調に進捗しております。

2017年3月期の通期業績見通しですが、決算短信でお知らせしておりますとおり、変更はございません。

以上、ご清聴ありがとうございました。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

2016年3月期第3四半期との比較



(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期	増減
建築用ガラス	2,015	1,781	(234)
欧州	707	629	(78)
日本	539	502	(37)
北米	296	267	(29)
その他の地域	473	383	(90)
自動車用ガラス	2,397	2,179	(218)
欧州	1,047	946	(101)
日本	422	407	(15)
北米	663	597	(66)
その他の地域	265	229	(36)
高機能ガラス	378	344	(34)
欧州	60	49	(11)
日本	178	179	1
北米	9	7	(2)
その他の地域	131	109	(22)
その他	6	3	(3)
欧州	1	0	(1)
日本	5	3	(2)
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
合計	4,796	4,307	(489)

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

24

償却前営業利益*

2016年3月期第3四半期との比較

(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期	増減
事業別			
建築用ガラス	167	208	41
自動車用ガラス	50	78	28
高機能ガラス	3	4	1
その他	(54)	(62)	(8)
合計	166	228	62
地域別			
欧州	19	59	40
日本	10	7	(3)
北米	61	71	10
その他の地域	76	91	15
合計	166	228	62

*: 無形資産償却前営業利益

連結貸借対照表

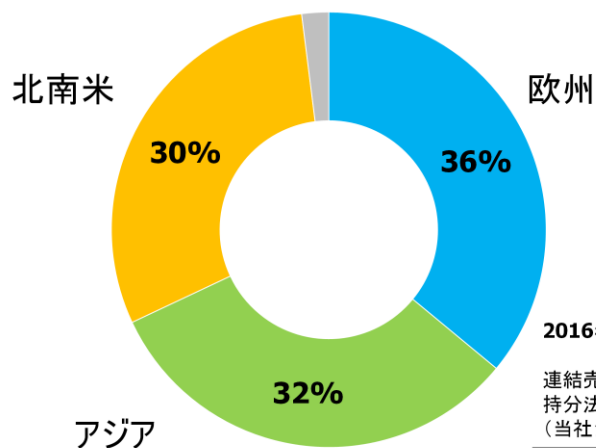
(億円)	2016年3月末	2016年12月末	増減
資産	8,121	7,772	(349)
非流動資産	5,714	5,373	(341)
のれん・無形資産	1,764	1,670	(94)
有形固定資産	2,589	2,472	(117)
その他	1,361	1,231	(130)
流動資産	2,407	2,399	(8)
現金及び現金同等物	551	577	26
その他	1,856	1,822	(34)
負債	7,001	6,765	(236)
流動負債	2,859	2,289	(570)
金融負債	1,435	1,024	(411)
その他	1,424	1,265	(159)
非流動負債	4,142	4,476	334
金融負債	2,934	3,287	353
その他	1,208	1,189	(19)
資本	1,120	1,007	(113)
親会社の所有に帰属する持分	1,031	912	(119)
非支配持分	89	95	6
負債及び資本	8,121	7,772	(349)

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

為替レート

	16年3月期 4月-12月期	16年3月期	17年3月期 4月-12月期
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	187	181	142
円/米ドル	122	120	107
円/ユーロ	135	132	118
期末為替レート:			
円/英ポンド	179	161	144
円/米ドル	121	113	117
円/ユーロ	133	127	122

(参考)2016年3月期 グループ売上高 地域別ビジネスウェイト



2016年3月期

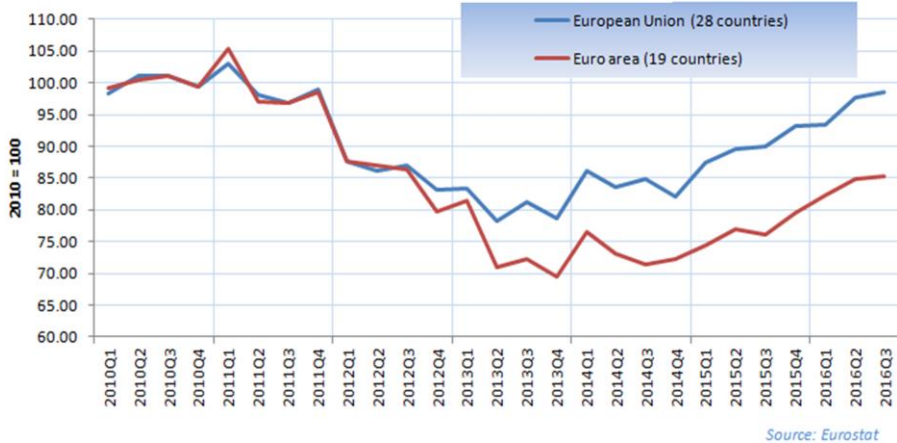
連結売上高:	6,292億円
持分法適用会社売上高 (当社シェア分)	475億円
合計	6,767億円

当社グループは世界各地でビジネスを展開

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

28

欧州住宅建設許可指数



NSG

GROUP